

ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー(八戸会場)

平成28年10月21日(金) 八戸市視聴覚センター児童科学館 視聴覚室、講義室

ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナーは、ボランティアに関わる職員の皆さんの専門性と資質の向上、ネットワークの構築を目的としたセミナーです。

今年度は、青森、八戸、弘前の県内3会場で開催しました。各会場とも講師に 青森大学社会学部 教授 櫛引 素夫 氏をお迎えし、「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!~人口減少・高齢化への適応に向けて~」と題して講義して頂きました。また、午後には市町村ボランティア担当者及び市町村社会福祉協議会職員の方々に事例発表をしていただき、その後の演習では参加者同士で情報交換をしながら交流を深めました。3会場あわせて70名が参加し、参加者の皆さんは真剣な表情でセミナーに臨んでいました。

1. 講義「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!~人口減少・高齢化への適応に向けて~」 概要

○「ネットワーク」について

- ・「ネットワーク」の言葉が持つニュアンスは、時代とともに変化してきている。
- ・かつては電話やファックス等が主であったが、現在は電子メール、インターネット(ブログ、電子掲示板)、SNSというように、着々とモバイル化・多様化してきている。
- ・デジタル・ディバイド(情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)をどう克服するかが課題である。
- ・「ネットワーク」のベースは「対話」「双方向」「対等」である。情報通信機器のコードをつないだだけ、ファックスをPCに置き換えただけ(受信)だけではまずい。



【講師 櫛引 素夫 氏】

○青森県の現状と行方(人口)

- ・県人口のピークは1983年であり、今では1世代前である。
- ・21世紀以降、県人口は年1万5000人のペース(1日40人程度、1時間に2人弱)で減少している。
- ・減少割合、流出割合は全国ワースト級である。

○青森県の現状と行方(高齢化・少子化)

- ・世代間で「所得格差」「情報格差」が広がっている。
- ・3人で1人の高齢者を支える「騎馬戦型社会」から、1人で1人の高齢者を支える「肩車型社会」へと移行しており、青森県はその先端にある。



【熱心に講義を聞く参加者の皆さん】

○対処すべき地域課題

- ・人口が減ることよりも恐ろしいのは、「何もしない市民」が増えることである。
- ・「地域参画総量(住民が地域のことを自分事としてとらえ、地域を良くしようと取り組む量)」を上げることが重要であり、そのためには当事者感覚と当事者能力の双方を高める必要がある。

2. 事例発表

○多賀城市市民活動サポートセンターの取組について

多賀城市総務部地域コミュニティ課 副主幹 千葉 明宏 氏

- ・多賀城市市民活動サポートセンターとは、平成20年6月にオープンした、市民活動やNPO法人等の活動のサポートをする施設である。
- ・サポートセンター設置を見据え、公募による市民の代表者と市職員の代表者が中心となり、平成18年6月に「市民活動促進指針」を策定した。また、平成19年3月、市民活動実践者等を委員とする設立検討委員会が「多賀城市市民活動支援センター設置に向けての提言書」を市長に提出し、センターの持つ機能に反映させた。
- ・いずれも市による案をもとにした会議ではなく、原案なしの状態からスタートさせた。これにより、理想の市民活動支援センターの機能を洗い出し、実現させることができた。



【多賀城市役所：千葉 明宏 氏】

○十和田市社会福祉協議会の特徴的なボランティア活動について

十和田市社会福祉協議会 主任主査 藤田 智哉 氏

- ・地域住民・企業・学校等を対象とした「福祉教育・ボランティア学習事業」では、車いす体験等の学習を行っている。以前は社協職員が行っていたが、地域人材育成の観点から現在はボランティアにお願いしている。これに伴い、「福祉教育インストラクター養成派遣事業」を実施し、ボランティアの育成・派遣を行っている。これまで累計150名のインストラクターを養成している。
- ・3日間の体験学習である「中学生ボランティアスクール事業」では、高齢者施設等でボランティア活動を実施している。また、小学生を対象とした全9日間の「夏休み寺子屋事業」では、ボランティアが活動内容を話し合い、実施している。今年度は144名のボランティアが参加し、事業運営を支えた。



【十和田市社協：藤田 智哉 氏】

3. 演習「ネットワーク形成に向けて」

長期のボランティアスタッフを受け入れる場面を設定し、5人の候補者からグループの合意により採用者を2人決定する体験プログラムを実施しました。



【演習の様子①】



【演習の様子②】



【演習の様子③】

〈参加者のアンケートから〉

- ・自分が担当している事業の可能性や今後の展開について考える契機になりそうです。
- ・榎引先生のお話では、キーワードを確認することができ、参考になりました。
- ・今、インターネットが重要であることを、改めて認識しました。
- ・ワークショップで職種の異なる方の考え方を聞いたこと、交流できたことが良かったです。
- ・町内会活動のヒントを頂きました。